

主張にあった資料を選んで情報を取り出そう。

第4時

ねらい：自分の考えの裏付けとなる資料を選び、資料から分かることを読み取りそこから考えられることを取材シートに書き出すことができる。（書くこと）
 準備物：【児童】取材シート、資料 【指導者】取材シートの掲示物

	主な学習活動	指導、支援 担任、担任か司書教諭、学校司書
導入	1 学習の見通しを持つ 「自分の書く意見文に説得力を持たせるために、今日の学習では、主張に合った資料を選んで、意見文の【中】を書くための材料を資料から取り出しましょう。」	既習事項の掲示物を確認したり、次時に使用する構成シートを示したりすることで、本時が【中】を書くための活動であることを意識できるようにする
展開	2 資料の選び方・情報の取り出し方を考える（一斉） 【取材シートに記入する内容】 ・なんの資料か ・何を表しているか ・資料から分かること ・わかることから考えられること（自分の考え） ・資料名やウェブサイトなどの出典	自分の主張の根拠となる資料を選んだり、その資料から情報を取り出したりすることができるように、教師が用意した資料について、全体で意見を出し合いながらよりよい方法を考える。
	3 自分の主張の根拠となるように資料を選択し、取材シートにまとめる（個人） ・資料から分かることの中から自分の主張に合うものを選択し、線を引く。その情報について自分の考えを書くようにする。	全体に広げられそうなものをみながら、困っている児童については、掲示物を確認する等、声をかける。困ったら、事前につくったグループで見合ったり、アドバイスしたりしてもいいことを伝える。 ・資料の読み取りに困っていたり、十分に読み取れなかったりする児童に個別に対応する。 ・更に資料にあたりたいという児童がいたら、対応する。
まとめ	4 取材シートを見合いながら、主張と資料が対応しているかお互いにアドバイスし合う。（グループ）	取材シートに情報を取り出しにくい児童については、文言が書き加えられたシートを使ってもよいことを伝える。
	5 ふりかえり 資料から分かること全てを使うのではなく、その中で自分の考えに合うものを選ぶことができました。そうすると、伝わりやすくなると思いました。次は、取材シートにまとめたことを使って、「中」を考えたいです。	早く終わったグループは、事前に示した構成シートに取りかかるように声をかける。 【評価規準】 自分の考えにあった資料を選び、資料から分かることや自分の考えを、取材シートに書き出している。（取材シート）

学校図書館活用授業シート

5・6年生国語科 グラフや表を用いて書こう

4週間前

自分の考えを説得力を持って伝えるために、目的や意図に応じて資料を選ぶ力をつけてほしい。

担任

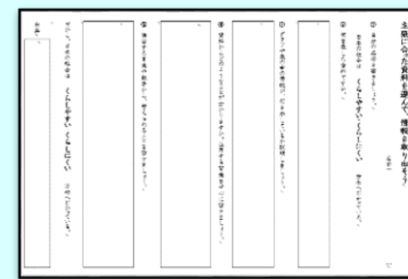
社会でもグラフの読み取りに力を入れている。この単元で力をつけることで、教科横断的な力をさらに伸ばしてほしい。

2週間前

情報の取り出しのため、ワークシートを作成。

【取材シートの内容】

- ①自分の立場
- ②何を表す資料か
- ③情報は何を表しているか
- ④資料から分かること
- ⑤分かることから考えたこと
- ⑥出典



本時まで

児童の課題設定が明確になるよう、クラゲチャートを使用する。課題が設定で来たところで、情報をみんなで共有する。本時で、支援が見込まれる児童の情報も共有する。

年鑑や統計の使い方のスキルを身に着けるのに、よいチャンスですね。

司書教諭
もしくは担任

学習に役立つように、年鑑の使い方のスキルを身に着けてほしい。図鑑や百科事典と同様に目次や索引を使って調べることを活用してほしい。

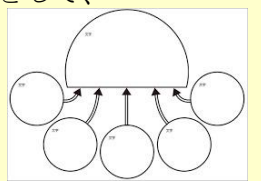
年鑑の使い方のスライド資料、ワークシートの確認。児童の実態に応じて資料を再編集する。

★思考ツール（クラゲチャート）

理由づける、関係づける、要約するとき、有効。今回は、自分の立場を決めるまでの手立てとして、活用予定。

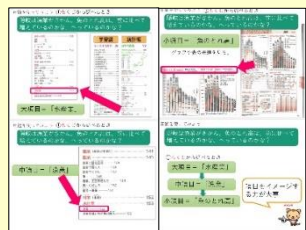
【使い方】

- ①クラゲの頭の部分に、自分の主張を書く。
- ②足の先の部分に、根拠や理由を書く。



★年鑑の使い方のスライド資料、ワークシート

- ①調べるための本についてのこれまでの流れ
図鑑→国語辞典、漢字辞典→百科事典→年鑑
- ②年鑑の構成
- ③年鑑の特徴
- ④年鑑を使って調べてみよう



本時でそれぞれの児童の考えた課題に沿った資料が見つかるよう、学校司書の資料準備をサポートする。

児童がそれぞれの考え（課題）の根拠になる資料あるかどうか確認する。年鑑になれば、ウェブサイトでも探す。児童が困ったときに、資料等を提供できるように、複数の資料を準備する。

年鑑・統計などの使いそうな資料を準備しておきますね。

学校司書

学校にある資料で、学級の数に対応できるか検討。必要であれば、町立図書館でも資料を探す。

子どもが使いそうな資料を学校図書館、町立図書館から探し、リスト化する。

ポイント



適切に課題を設定し、目的や意図に応じて資料を活用し、意見文の記述につなげられるよう、みんなで支えよう。

単元計画

単元目標

- ・目的や意図に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理するとともに、引用したり図や表を用いたりするなど書き方を工夫して、自分の考えが伝わるように書くことができる。(書くこと)

教科横断的な力

資料を読み取る力は社会科で、自分の考えを伝えるように書く力は総合的な学習で活かすことができる！

	第1次		第2次			第3次	
	1	2	3	4(本時)	5	6	7
 <p>学習活動</p>	<p>「学習の見通しをもとう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見文を書くという学習課題を知り、見通しをもつ。 ・現代社会がぐらしやすい方向に向かっているかどうか、自分の考えを整理する。 	<p>「説得力のある文章の書き方を考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例文から文章構成を理解する。 ・自分の立場を決める。 	<p>「年鑑の使い方を知って、自分にあった資料を探そう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年鑑の使い方を知り、実際に自分の考えを裏付ける資料を探す。 	<p>「主張にあった資料を選んで、情報を取り出そう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えの裏付ける根拠となる統計資料を選択し分かる事実とそれについての自分の考えを取材シートにまとめる。 	<p>「資料を効果的に使った【中】の書き方を考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計資料を効果的に活用しながら、「中」の文章を書く。 	<p>「文章を完成させよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ」と「終わり」の部分を記述する。 ・自分の考えに説得力のある意見文になっているか見直し、清書する。 	<p>「文章を読み合って感想を交流しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を友だちと読み合い、考えや文章の書き方、資料の使い方について感想を交流する。
 <p>担任の動き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前単元の既習事項を想起させ、説得力のある意見文を書きたいと思えるように出会わせ方を工夫する。 ・思考ツールを使い、自分の考えを整理し、自分の立場が客観的にとらえられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例文の示し方を工夫することで、何をどのように書いたらよいのかということ、どのような資料を探していったらいいのかということの見通しがもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に児童の考えを把握しておき、児童が困ったときに資料を提供できるように事前に学校司書と打ち合わせておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように資料から情報を取り出したり、自分の考えを作ったりすればよいのか、取材シートや既習事項の掲示物をもとに全員で確認できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で作成した取材シートに書かれているメモを文章化する方法を考えられるように、教師の作成したメモを用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「初め」に書いてある主張と「終わり」に書いてある主張にはどのような違いがあるのかを比較して考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説得力のある文章を書くためのスキルとして、目的にもあった資料を選んだり、資料と文章を対応させて書いたり、事実と考えを区別して書いたりすることを他教科の学習において今後生かしていけるようにさせる。
 <p>担任もしくは司書教諭の動き</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば、課題設定の仕方について担任にアドバイスをする。 ・児童が課題設定を終えた時点で、担任と学校司書をつなぎ、準備した資料が、児童の課題を解決するのに適切か、検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年鑑の使い方についてスライドを用いて説明する。 ・統計資料の読み方を思い出せるように、掲示物等準備。 				<p>【事後】担任、学校司書に、図館活用の視点からふりかえってもらい、次回に生かせるように、記録を残す。</p>
 <p>学校司書の動き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の資料準備が終わったら、リストを作成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題設定の場に参加。児童が課題設定を終えたら、児童の立てた課題で、資料から情報を探ることができるか、実際に試してみる。 →資料がない場合には、インターネットで調べたものを印刷して渡せるように準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に児童の考えを把握しておき、児童が困ったときに資料を提供できるようにしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任と事前に打ち合わせをしておき、情報を抜き出すことが難しい児童の個別の支援にあたる。 ・さらに調べたいことが出てきた児童に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿を作る際に、もう一度調べたくなるなど、再度資料にあたることもある児童に対応する。 		<p>【事後】成果物を掲示、蓄積できるようにする。</p>
<p>評価規準</p>	<p>【関】学習課題を設定し、意見文のテーマに関わって自分の考えを交流しようとしている。</p>	<p>【書くこと】</p> <p>グラフや表などの資料があることの効果に気づいている。</p>	<p>【書くこと】</p> <p>自分の主張に合いそうな資料を、年鑑等を使いながら収集している。</p>	<p>【書くこと】</p> <p>自分の考えにあった資料を選び、資料から分かることや自分の考えを、取材シートに書き出している。</p>	<p>【書くこと】</p> <p>事実や根拠と自分の考えを区別して「中」の文章構成を考え、資料と文章を対応させて記述している。</p>	<p>【書くこと】</p> <p>自分の意見文に説得力を持たせるために、グラフや図表等を用いて自分の考えの裏付けとなるように書いている。</p>	<p>【書くこと】</p> <p>他者の文章を読んで、優れた点を具体的に指摘している。</p>

視点① 意見文を書く流れを意識させたことは、全体の構成の見通しをもちながら【中】の部分を考えることに有効であったか。

②取材シートを用いたことは、主張の根拠を見出すことに有効であったか。